

F. その他

①大学院生・研究者等の積極的な受入・派遣等

●大阪大学 薬学研究科生命情報環境科学専攻

「健康環境リスクマネジメント専門家育成」の事例 <医療系>

具体的に何を実施したのか

本事業では、国際交流プログラムとして、環境問題、感染症や食品安全といった健康環境リスクを国際的、学際的な視点から解析する上で重要な位置付けにあるタイ、ベトナム及び中国を対象とした大学院生及び若手研究者の派遣・受入を行った。これらの交流は、薬学研究科やグローバルコラボレーションセンターにおけるこれまでの豊富な海外交流実績を基盤として、大阪大学の複数の海外研究教育拠点及び海外連携研究教育機関の協力により実施した。具体的には、派遣については、数名の大学院生によって構成されたグループ単位で、上記3ヶ国における研修を行った。受入については、上記3ヶ国の連携教育研究機関から若手研究者及び大学院生を招聘し、日本の学生との合同研修や学生フォーラムを実施した。これらの成果は、毎年開催した国際シンポジウムで発表を行うと共に、成果報告書に記載した。このような取り組みにより、国際的に活躍できる健康リスクマネジメントの専門家の養成を図った。こういった国際交流プログラムは、助成終了後も継続して実施している。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

国際交流プログラムにおいては、環境問題、感染症や食品安全といった健康環境リスクについて、関連科目の受講やグループ単位での事前調査によって得た専門知識や情報を基に、学生自ら課題設定と研修計画の立案を行った。この際、豊富な海外における研究教育活動実績を有する教員も参画し、アドバンストPBLとして十分な情報解析や討議を行い、また海外研究教育拠点や海外連携研究教育機関との綿密な事前打ち合わせを行うことにより、教育効果の高い研修の実施に努めた。また、海外の若手研究者や大学院生との密な交流を海外研修時及び招聘した際の合同研修や学生フォーラムでも維持し、積極的な情報交換や討論をする機会を作ることに努めた。このような工夫により、海外で活躍できる健康環境リスクマネジメントの専門家に必要な、国際的かつ学際的な視点から課題を俯瞰できる課題探求能力や高度な国際コミュニケーション能力の効果的な養成を図った。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

これらの国際交流プログラムにより、我が国及び3ヶ国の大学院生や若手研究者間の交流が深まり、目標とする国際的に活躍できる健康リスクマネジメントの専門家に必要な能力の養成が達成されたと言える。こういった本事業の成果は、国際

的な取り組み、特にアジア諸国における連携が必要な環境問題、感染症、食品安全の解決・確保に向けて、将来的に活躍できる専門家の育成及びそのネットワーク形成に資するものである。本プログラムに参加した学生や若手研究者に対するアンケートや面談でも、上記のような点について十分な教育効果があったことが伺える回答が得られている。

●長崎大学 医歯薬学総合研究科熱帯医学専攻

「国際連携による熱帯感染症専門医の養成」の事例 <医療系>

具体的に何を実施したのか

ベトナム、フィリピンにある海外協力病院に10～16週間、学生（医師。2年間で7名）を派遣し、病棟外来回診同行、症例検討会参加を行った（臨床研修）。同時に、各人の研究課題に合わせた患者診察、病歴聴取を行いデータ収集を行った（臨床研究）。各人に対し、1回30分～60分のテレビ会議システムによる指導教授からの指導を滞在中4回～11回行った。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

渡航前にできる限り、先方病院と研究課題についての合意了解を得ること（先方の倫理委員会承認含め）、テレビ会議による指導を定期化すること（実際、現場に入り研究デザインの変更を余儀なくされる場合にも対応できた。）に留意した。また、定期指導時に、学生の安否確認を行った。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

<研究で研修を>

海外臨床研修のみの場合、医師であっても海外での治療行為が許されないことから、病棟外来見学の域を出ないことが多い。一方、臨床研究を実施する場合は、治療こそ不可能だが、個々の患者の診察、病歴聴取等もう一步深く現地の臨床現場の実情に近づくことが可能になる。これは外国人医療関係大学院生が臨床現場にアプローチする一つの有効な方法と考えられる。

<研究への関心喚起>

複数の学生が「入学当初は臨床活動にのみ関心があったが、この臨床研修・研究を通してその後ろにある病態、疫学、治療に関する研究への関心を深めた」と述べている。実際、プログラム該当時期の7名の日本人学生中4名が博士課程に進学しているなど、この活動が研究活動への良い導入となったことが示された。